

学び 育み 認め合い 『未来を創造する』人づくり

URAYASU STYLE

教育情報誌
うらやすスタイル
浦安市教育委員会

VOL. **50**
2023.10

子どもの学びを支える人々



子どもたちの学びに主体性と多様性を!

今号は、学校の授業時間内における「子どもの学びを支える人々」と、「教育情報誌うらやすスタイル」の創刊50号を記念した記事の紹介です。学校の教育活動は「教科学習」と行事等の「特別活動領域」で構成されており、各学校は教科書の内容等を創意工夫して実践や体験を通して、知識・技能を習得させ、思考力・判断力・表現力等を身に付けさせていきます。その際、教師以外の外部の専門家や、地域社会で活躍されている方々を招いて実際に話を聞いたり、実技を見たり、また時には現地に出向いて本物を見たり、体験したりと多様な学びを行っています。

私は教育長に就任した2018年の第35号から、このコラムの中で「学校教育と社会教育の融合」をコン

セプトに内容を紹介してきました。子どもたちの学校での学びが、社会生活や生涯学習のどこに結びついているのか、つながるのかを考えた深い学びを進めることで、子どもたちの主体性が育まれるものと信じています。

今年の夏の公民館や郷土博物館等の社会教育施設での講座や事業、アートプロジェクト『浦安藝大』や青年会議所等の事業に参加している子どもたちの姿を見ていると、学校教育と社会教育の融合の兆しが見え始めてきているなど手ごたえを感じ、嬉しく思っています。

浦安市教育委員会 教育長 鈴木 忠吉

学校の子どもたちの学びを支える人たち

学校の教育活動は、それぞれの学校の教職員だけでなく、様々な人たちに支えられて行われているものがあります。今回はその一部を紹介します。



避難訓練 消防本部警防課

▶ 煙の中を歩く煙幕体験
(高洲小)



▶ 訓練後に消防車の見学
(高洲小)

学校では定期的に避難訓練を行い、いざという時に子どもたちが安全に避難できるよう努めています。消防本部の協力を得て、煙幕体験や消防車の見学等を行うこともあります。

ミュージック・デリバリー (公財)うらやす財団教育普及事業

音楽の素晴らしさを感じ、芸術文化に関心を持ってもらうために、浦安にゆかりのある演奏家が学校を訪れ、子どもたちと交流します。

▶ 演奏家の伴奏による合唱
(浦安小)



吉田奈生さん

松田春菜さん

▶ 今回演奏してくれた演奏家「はるなおデュオ」のふたり



認知症サポーター養成講座 高齢者包括支援課



認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人や家族に対する正しい接し方について学びます。市内全小学校で実施しています。

▶ 動画による事例紹介を見ながら接し方を学びます。
(見明川小)



◀ 友達と意見交換をしながら学ぶ。(見明川小)

租税教室 市民税課

▶ 税金の使われ方について考える。
(富岡小)



◀ 一億円(模型)の重さや大きさを実感する。
(富岡小)

税金の種類や役割、集め方や使い方などを、市役所の市民税課の職員から教わり、自分たちの生活を支える税の仕組みについて理解を深めます。



救急救命講習会 学校薬剤師・千葉 PUSH

子どもたちに万が一のことが起こってもしっかりと対応できるように、市内全小中学校の教職員を対象とした救急救命講習会を実施しています。



▶ 学校薬剤師の話聞き動画を見る。
(明海中)



◀ 模型を使って胸骨圧迫(心臓マッサージ)の練習をする。
(明海中)

交通安全教室 浦安警察署・高洲防犯ステーション

横断歩道や信号のない交差点などの歩き方を、体育館に設置した模擬道路を使って小学1年生が学びます。

▶ 標識の意味を理解し歩き方を実践する。(北部小)



▶ 警察署の方に正しい横断歩道の渡り方を学ぶ。(北部小)



火起こし体験 郷土博物館

▶ グループになって協力して火を起こす。(高洲北小)



▶ 郷土博物館スタッフの実演(高洲北小)

小学6年生社会科の学習の一環で、火起こし体験を行います。郷土博物館の協力で、火起こし器を使って実際に火を起こします。



いのちの教育講演会 医師・助産師等

医師や助産師の講話をもとに、性に関する正しい知識や LGBTQ などを学び、その人のその人らしさを認め合う態度を育みます。



▶ 今回の講師として講話してくださった婦人科医師の坂本愛子さん



▶ スライドや動画をもとに学ぶ。(入船中)

祝 うらやすスタイル 50号

おかげさまで教育情報誌うらやすスタイルは、
発行から 50 号になりました。ここまでの軌跡をたどります。

教育情報誌「うらやすスタイル」は、「教育うらやす」と「ゆうスタディ」を統合して平成 16 年度(2004年)に発行を開始しました。学校教育をはじめ、生涯学習の取組、地域と子どもとの関わりなど、教育情報を発信してきました。この 20 年間で浦安市の教育も大きく変わりました。小学校は4校、中学校は2校が開校し、小学校の2校が1校に統合しました。また小中学校には特別支援学級が整備され、複数の通級指導教室が開設されました。地域では各公民館や中央図書館が次々とリニューアルされ、市民の皆様がより利用しやすい施設へと生まれ変わりました。



創刊号
2004年9月発行



第 15 号 2011 年 9 月 発行
東日本大震災後



第 41 号 2020 年 9 月 発行
感染症による休校再開後

およそ 20 年の歳月を経て 50 号となりました。その間、
大きな出来事もありましたが、学校教育、生涯学習の歩みは止めず、その情報について発信を続けてきました。
これからも変わらずのご愛顧をよろしくお願いいたします。



浦安の子どもたちのために様々な場面で

活躍してくださっている方たちを紹介します。



ミュージック・デリバリー

(公財)うらやす財団



子どもたちに本場の音楽を届けようと、様々なアーティストを送り出す事業を展開している、(公財)うらやす財団の増山さんにお話を伺いました。

Q 増山さんのお仕事の内容を教えてください。

増山 地元の演奏家を発掘して発表する場を提供したり、市民の方々が音楽に触れる機会を作って運営したりしています。言わば、浦安にゆかりのある演奏家と市民の方々を結びつける仕事をしているということになります。

Q ミュージック・デリバリーという事業を始めた経緯を教えてください。

増山 元々は、一般財団法人「地域創造」が実施した「音楽活性化事業」に応募したところから始まったものです。当時その事業で若い演奏家が小学校に派遣され、小学生が音楽に触れる機会を作ることができました。ただ、その事業は期間が決まっていたものだったので、同じようなことを継続的に浦安市でもできないかと考え、うらやす財団が主体となって一事業として取り組むようになりました。そして、この事業を地元の演奏家を派遣して実施できれば、さらに地域の活性化につながるのではと考えました。また、演奏家にとっても、小学生の前で演奏するということは、コン



▲うらやす財団 増山 徳子 さん

サートなどで演奏することとは違い、いかに音楽に興味を持ってもらうかというのを考えながら演奏しなければならないので、他の面で成長できる場所もありました。

Q この仕事のやりがいはどこのところですか。

増山 子どもたちの反応や感想をもらうのがとても楽しみです。また、演奏家が目の前で演奏するのを聞くといった、初めての経験をした時の子どもたちの驚きや笑顔などの表情を見るとやってよかったなと感じますね。演奏家にとってもこの経験が自身の表現活動にプラスになっているところを見ると嬉しいと感じます。

Q この仕事をしていて、気を付けていることは何ですか。

増山 「一人の子どもも取り残さない」ということをモットーにやっているの、子どもたちからどのように見えているか、聴こえているかを考えて位置を考

たり、子どもたちの発言をしっかりと拾っているかなどを考えたりしています。

Q この先の展開や計画していることなどはありますか。

増山 ここまで地元の演奏家を育てる事業を続けてきて、感染症についても落ち着きが見られたところなので、市民の方と演奏家をつなげる大きなことができたと思っています。とにかく生の演奏をみなさんに聞いてもらうような場を作りたいと思っています。

Q 最後に、子どもたちや保護者、地域の方々に伝えたいことがあればお願いします。

増山 市民プラザや文化会館では、ミュージック・デリバリーに限らず、音楽や芸術など様々な分野と接する機会を用意しています。いつでもお待ちしておりますのでぜひいらしてください。



▲演奏家の活動をお手伝いする。



事業紹介



本事業では、オーディションで選ばれた浦安にゆかりのある演奏家が派遣されます。また、その演奏家は専門講師の研修を受け、特別なプログラムを作成し子どもたちの

前に立ちます。このような交流の機会をつくることにより、未来の観客を育て、演奏者・市民・ホールの継続的な関係を築いていくようにしています。主に小学4年生から6年生を対象にしており、希望のあった学校に演奏家が派遣され、音楽に触れる授業が展開されます。



演奏だけでなく、音楽の知識についても学ぶ。

調査から見える 浦安っ子

～浦安市小中学校保護者及び教員の教育に関する意識調査～

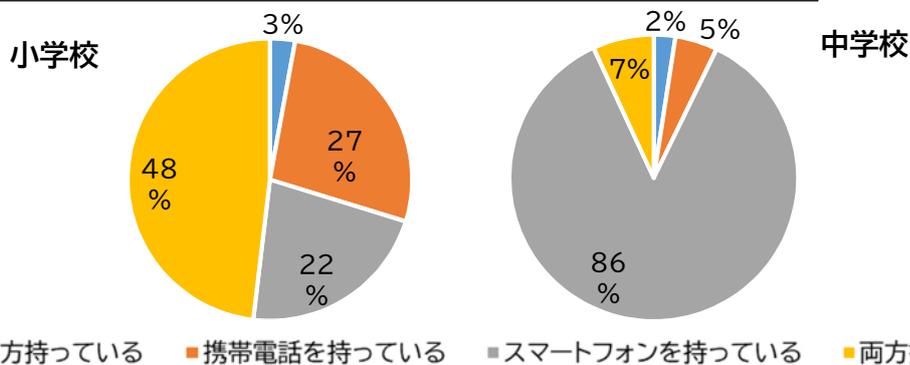
(令和4年度実施)

浦安市の小中学生の保護者及び教員が、現在の子どもたちの実態、教育における学校や家庭の役割、家庭における子どもとの関わりをどのように捉えているのか、さらに、浦安市の教育にどのようなことを期待しているのかなどを把握し、分析することを通して、本市教育の充実に資することを目的に、隔年で実施しているものです。

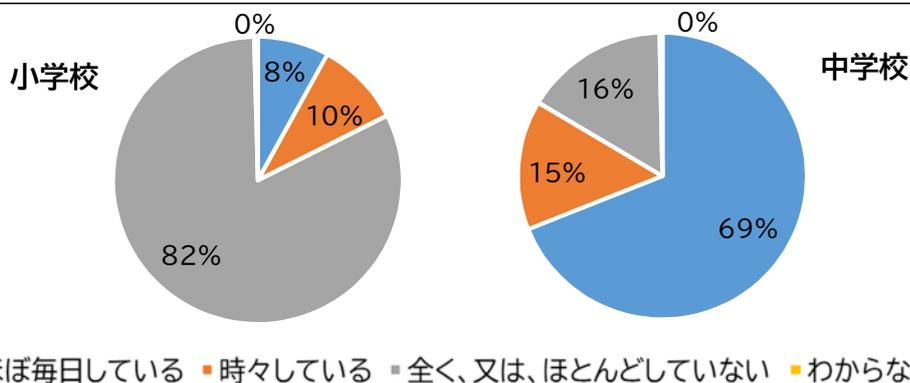


◎スマートフォンやインターネット、SNS の利用について

Q お子さんは自分の携帯電話やスマートフォンを持っていますか。

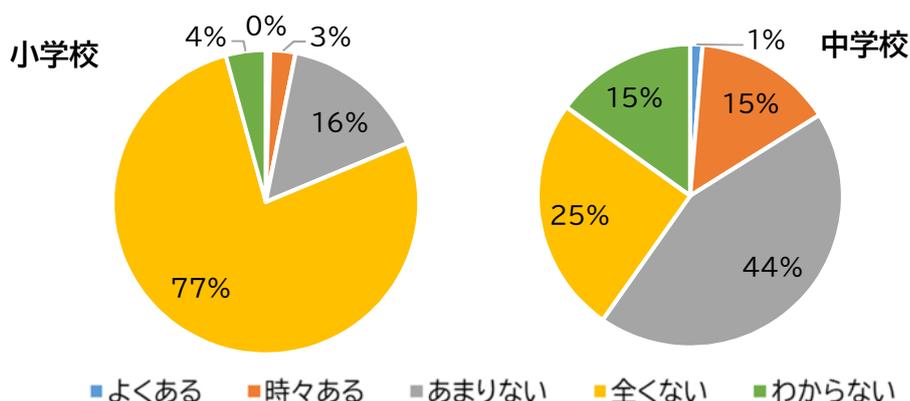


Q お子さんはSNS(Facebook や LINE、Twitter(現 X)、Instagram 等)を利用していますか。



中学生になるのを境に、子どもたちにスマートフォンを持たせている家庭が多いようです。また、スマートフォンを持つことをきっかけとして、SNS に触れることも多くなるようです。スマートフォンを持つことになった子どもたちが、ネットやメールで嫌な思いをしていないと言える保護者が、中学校では 25%しかいないことわかりました。スマートフォンを持つことで格段に外の世界とつながる機会が増えます。トラブルをしっかりと未然に防ぐ手立てを講じておく必要があるようです。

Q お子さんはネットやメールを使って、嫌な思いをしたことはありますか。



国際交流活動中!

5月にインドネシアの中学生が高洲中学校を訪れ生徒たちと交流しました。千葉県主催の訪日教育旅行受け入れの一環で、生徒同士の交流を通して、互いの国の文化や生活様式の理解を深めようという事業になります。当日は、高洲中の子どもたちが日本文化を紹介することで交流を深めていました。



◀インドネシアの中学生の発表を鑑賞する。(高洲中)

地域こども相談 学校外で相談できる場ができました。

学校外で相談できる場として、地域包括支援センター(ともづな)を利用し、スクールカウンセラー(公認心理師)が出張相談を行っています。悩みや困りごとなど気軽に相談してください。

場所	日にち	時間
ともづな浦安駅前	11月6日(月)・12月4日(月) 令和6年2月5日(月)・3月4日(月)	午前10時~正午
ともづな富岡東野支所	11月14日(火)・12月12日(火) 令和6年1月9日(火)・2月13日(火)・3月12日(火)	午後2時~4時
ともづな新浦安	11月17日(金)・12月15日(金) 令和6年1月19日(金)・2月16日(金)・3月15日(金)	午前10時~正午
ともづな高洲	10月26日(木) 令和6年1月25日(木)・2月22日(木)・3月28日(木)	午前2時~4時

対象▶市内在住の方

申込▶相談希望日前日までに、電話で、指導課 090-8384-7085 へ

*当日の受け付けも可



相談窓口のご案内



子どものこと、学校のこと、進路のこと
お気軽にご相談ください ※祝日は休み

相談名	相談内容	対象	相談日と期間	相談場所と電話番号
子育て	子育てに関する相談や 情報提供	子育て家庭や妊産婦	月~金曜日 9:00~16:00	子育て支援室(集合事務所3階) ☎306-3715
就学相談	特別な教育的支援が 必要な子どもの就学相談 園・学校生活、通級指導 教室の利用に関する相談	就学前児、小・中学生と その保護者	月~金曜日 9:00~17:00	教育センター まなびサポート (富岡小学校内) ☎381-7961
学校生活	学習、進路、問題行動など 学校生活に関する相談	小・中学生と その保護者	月~金曜日 9:00~17:00	指導課(市役所7階) ☎712-6775
教育相談	不登校や子どもの友人 関係、性格・行動等に 関する相談	小・中学生と その保護者	月~金曜日 10:00~ 17:00	いちよう学級 猫実 ☎351-1151 入船 ☎711-2336
いじめ110番	いじめに関する相談	小・中学生と その保護者	月~金曜日 9:00~17:00	電話相談 相談専用 ☎0120-211-380 市ホームページにメール相談専用フォームあり
青少年	問題行動、家庭生活など 青少年に関する相談	20歳未満の青少年	月~金曜日 10:00~正午 13:00~ 16:00	青少年センター(市役所7階) 相談専用 ☎351-1152 市ホームページにメール相談専用フォームあり
生涯学習相談	学びたいこと、習いたい ことなどの相談	一般	月~金曜日 9:00~17:00	生涯学習課(市役所7階) ☎712-6792

小・中学校には、スクールライフカウンセラーが全校配置されており、直接、子ども・保護者からの相談(友達関係、学業、セクハラ、いじめ、不登校及び登校しぶりなど)に応じています。

教育情報誌



発行：浦安市教育委員会 浦安市猫実 1-1-1 TEL:047-712-6732

企画・編集：教育政策課

浦安市教育振興基本計画では、「学び 育み 認め合い『未来を創造する』人づくり」を基本理念として、学校、家庭、地域、行政が連携・協力し、豊かな浦安の未来を創造する人づくり、地域づくりを推進しています。

教育情報誌「うらやすスタイル」では、学校教育をはじめ、生涯学習の取り組み、地域と子どもとのかかわりなどの教育情報を発信していきます。